

# 事業所における健康づくりに 関するアンケート調査報告書

高知県中央東福祉保健所

令和6年1月

# 目次

---

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| I 調査の概要                       | 1 |
| II 調査結果                       |   |
| 1 事業所の属性                      | 2 |
| (1) 回答者の役職                    |   |
| (2) 業種                        |   |
| (3) 従業員数                      |   |
| (4) 健康保険                      |   |
| 2 職場での健康づくり                   |   |
| (1) 従業員の生活習慣や健康について気になること     | 3 |
| (2) 職場での健康づくりに関する取組           |   |
| ① 定期健診後の保健指導や医師による面談等のフォロー    | 3 |
| ② 健康経営の取組                     | 4 |
| ③ 健康経営に関する具体的な取組              | 4 |
| ④ 高知家健康パスポートの活用               | 5 |
| (3) 職場での健康づくりに関する支援機関や制度等の認知度 |   |
| ① 支援を受けられる機関の認知度              | 5 |
| ② 健康経営の認知度                    | 6 |
| ③ 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認知度   | 6 |
| (4) 【再掲】事業所規模別の比較             |   |
| ① 従業員の生活習慣や健康について気になること       | 7 |
| ② 定期健診後の保健指導や医師による面談等のフォロー    | 7 |
| ③ 健康経営の取組                     | 8 |
| ④ 支援を受けられる機関の認知度              | 8 |
| III まとめ                       | 9 |

# I 調査の概要

---

## 1 調査の目的

高知県では、働き盛り世代の男性の死亡率が全国平均より高く、死因の半数を生活習慣病が占めている。事業所の定期健診では、生活習慣病に関連の深い検査項目（血圧、血糖等）の有所見率が高い。また管内でも同様に、国保働き盛り世代において血圧や血糖、メタボ該当者等の有所見率が上昇傾向にある。そのため、労働者が1日の大半を過ごす職場での健康づくり（健康経営）を進めていくことが必要であるが、当所では管内事業所の健康づくりに関する取組状況や課題等を把握できておらず、事業所に対する啓発や取組支援が不十分である。

そこで、本アンケート調査は管内事業所の職場での健康づくりに関する取組や、健康経営の認知度等について把握するとともに、今後の事業所における健康経営の取組支援に生かすことを目的に実施する。

## 2 実施主体

高知県中央東福祉保健所

## 3 調査対象

管内事業所のうち、当所が把握している 232 事業所

（当所の過去の事業での関わりやインターネットの情報等から、把握可能な事業所を対象とする。）

## 4 調査方法

調査対象事業所に、調査票を郵送。高知県電子申請サービスまたは FAX にて回答を依頼

## 5 調査期間

令和 5 年 10 月 1 日～令和 5 年 10 月 27 日

## 6 調査内容

- ・事業所の属性に関すること
- ・職場での健康づくりに関すること

## 7 調査の結果

- ・調査票送付数 232（うち 7 事業所が移転・閉業）
- ・回答事業所数 131、回収率 58%

## II 調査結果－ 1 事業所の属性－

### (1) 回答者の役職 (n=127)

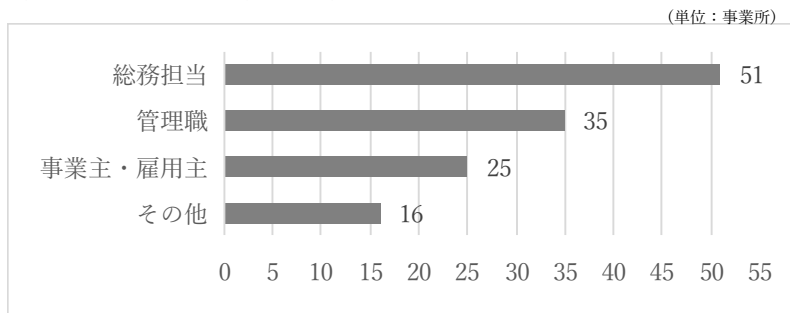


図1 回答者の役職

### (2) 業種 (n=131)

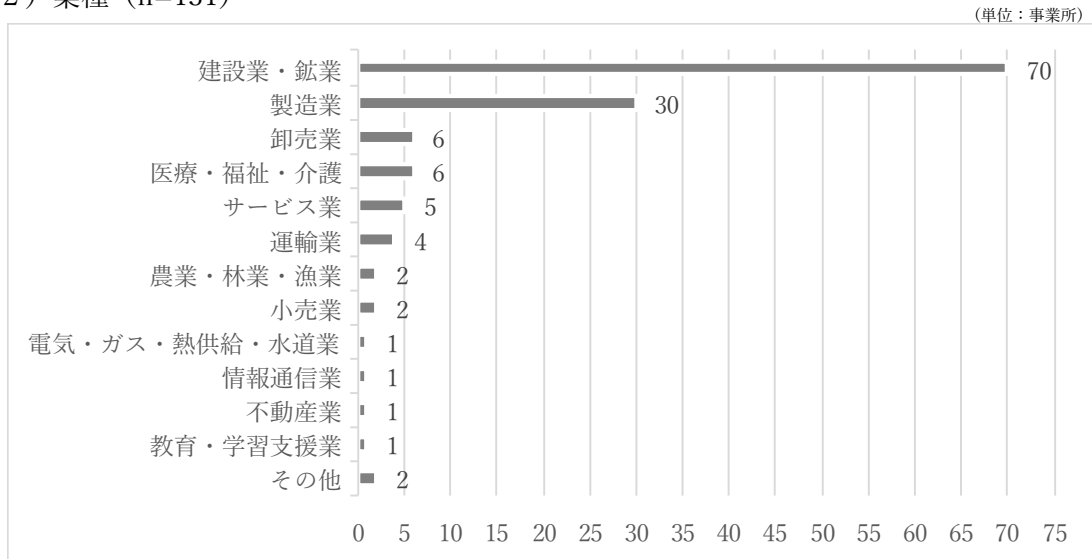


図2 業種 (単位：事業所)

### (3) 従業員数 (n=131)

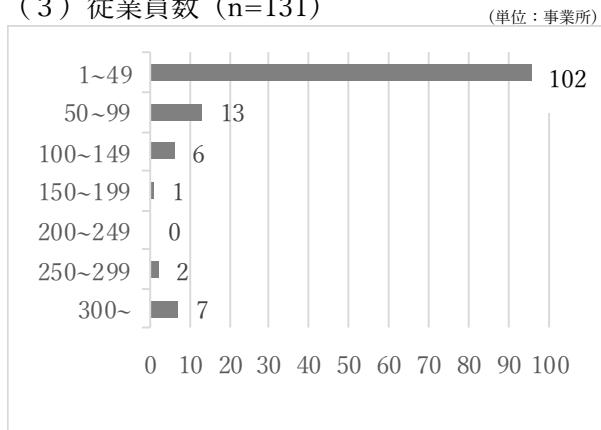


図3 従業員数

### (4) 健康保険 (n=131)

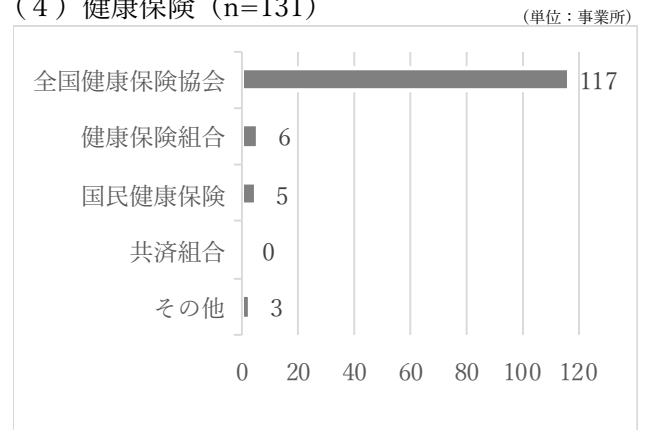


図4 健康保険

## II 調査結果－ 2 職場での健康づくり－

### (1) 従業員の生活習慣や健康について気になること (n=129) ※3つまで回答

従業員の生活習慣や健康について気になることは「高血圧」が53(41%)と最も多く、次いで「喫煙」が46(36%)、「運動不足」が33(26%)、「栄養バランス、食事面」が32(25%)、「高血糖、糖尿病」が27(21%)の順であった。

また、「気になることはない」と答えた事業所は12(9%)であった。

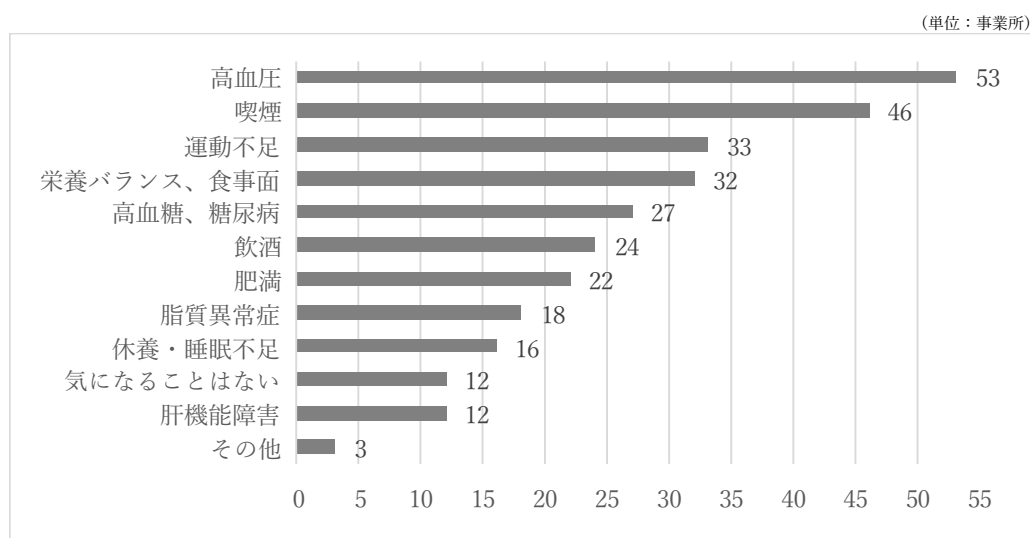


図5 健康課題

### (2) 職場での健康づくりに関する取組

#### ① 定期健診後の保健指導や医師による面談等のフォロー (n=131)

定期健診後の保健指導や医師による面談等のフォローを行っている事業所は71(54%)であった。

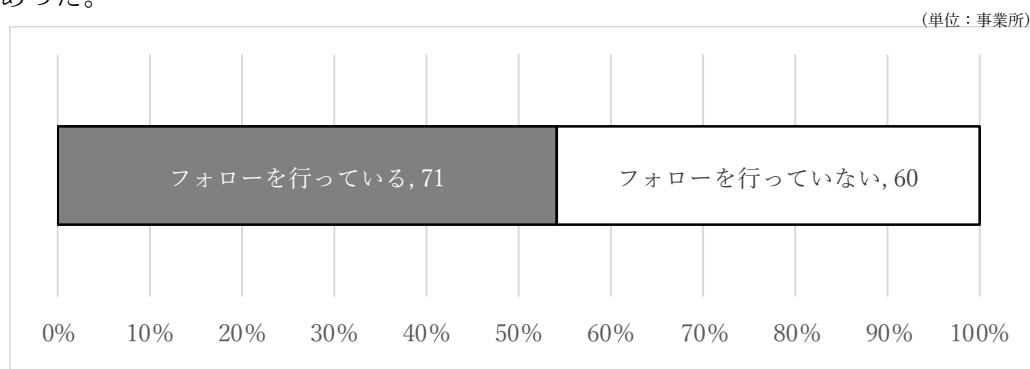


図6 定期健診後のフォロー

## ②健康経営の取組 (n=130)

定期健診以外の健康づくりを行っている事業所は 46 (35%) であった。

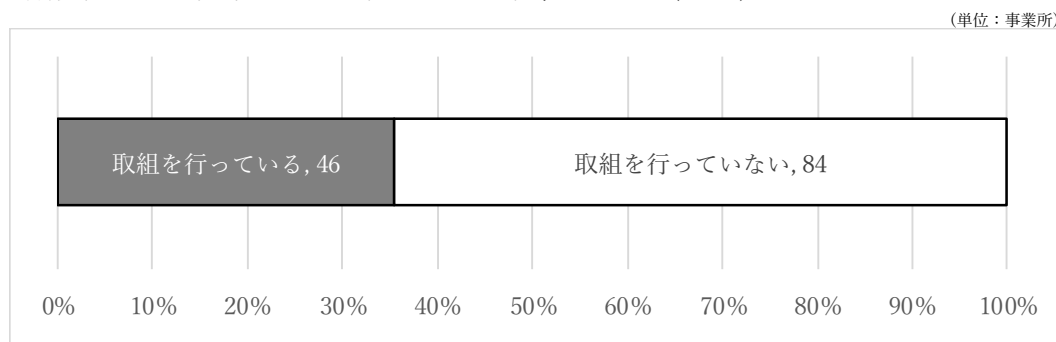


図7 健康経営の取組

## ③健康経営に関する具体的な取組 (n=46) ※複数回答

定期健診以外の健康づくりを行っている事業所のうち、具体的な取組については「運動機会の提供」が 39 (85%) と最も多く、次いで「栄養・食事に関する取組」が 8 (17%)、「勉強会の実施」が 6 (13%) の順であった。

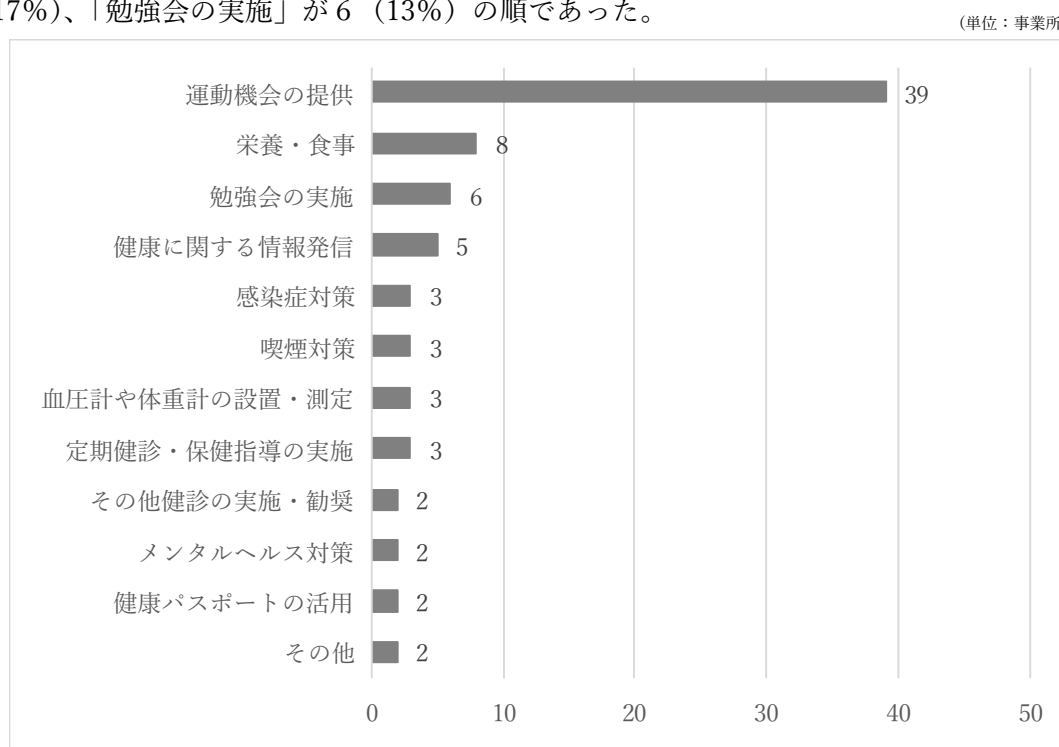


図8 健康経営に関する具体的な取組

④高知家健康パスポートの活用 (n=131)

職場での健康づくりに高知家健康パスポートを活用している事業所は15(11%)であった。

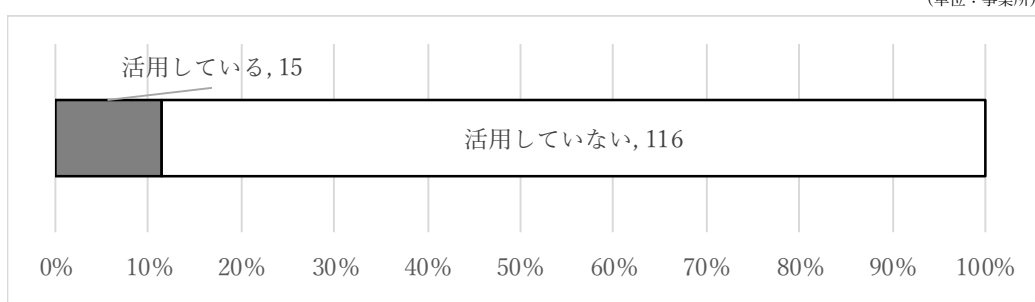


図9 高知家健康パスポートの活用状況

(3) 職場での健康づくりに関する支援機関や制度等の認知度

①支援を受けられる機関の認知度 (n=125) ※複数回答

職場の健康づくりについて、支援を受けられる機関の認知度は全国健康保険協会が79(63%)と最も多く、次いで産業保健総合支援センターが33(26%)、福祉保健所が20(16%)の順であった。また、知っているものはないと答えた事業所は26(20%)であった。

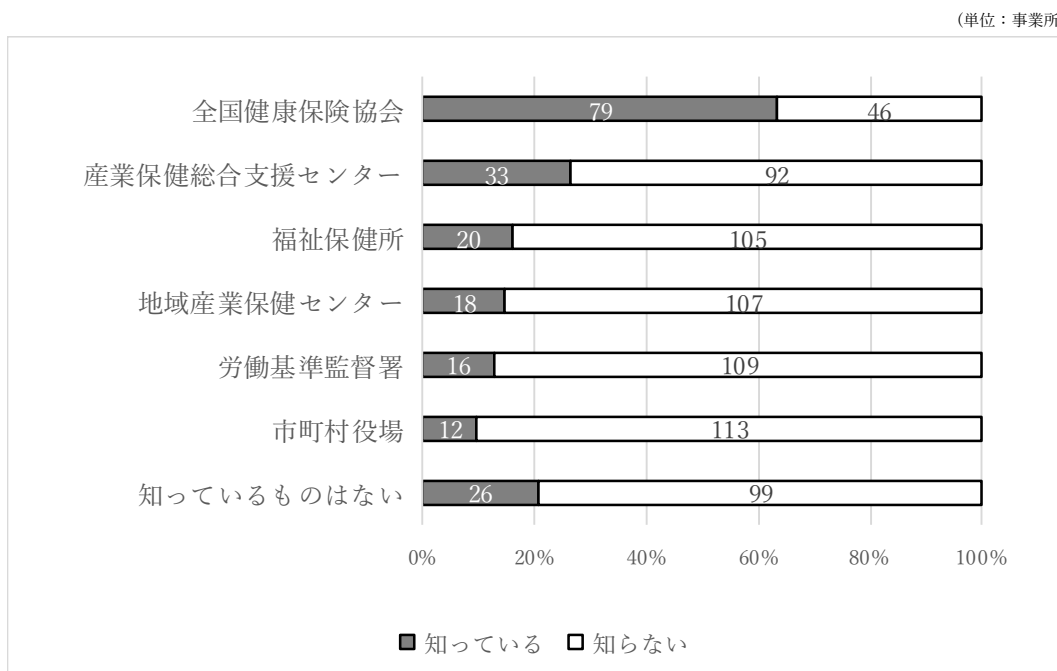


図10 支援を受けられる機関の認知度

②健康経営の認知度 (n=126)

健康経営の認知度については「内容は知らないが、聞いたことはある」が44 (35%) と一番多く、次いで「内容を知っている」が43 (34%)、「初めて聞いた」が38 (30%)、「関心がない」が1 (1%)であった。

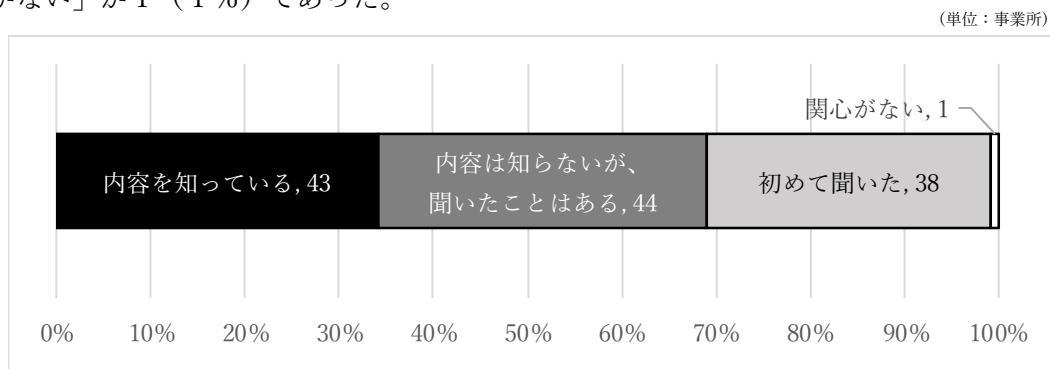


図 11 健康経営の認知度

③高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認知度 (n=126)

高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認知度については「内容を知っている」が52 (41%) と一番多く、次いで「初めて聞いた」が41 (33%)、「内容は知らないが、聞いたことはある」が32 (25%)、「関心がない」が1 (1%)であった。

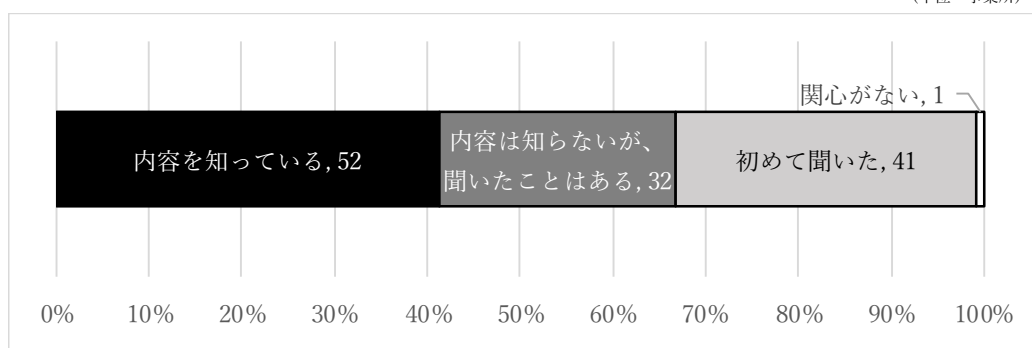


図 12 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認知度



(4) 【再掲】 事業所規模別の比較

①従業員の生活習慣や健康について気になること

従業員の生活習慣や健康について気になることは、50人以上の事業所では「高血圧」が15(52%)と最も多く、次いで「脂質異常症」が9(31%)、「肥満」が8(28%)であった。50人未満の事業所では「喫煙」が39(39%)と最も多く、次いで「高血圧」が38(38%)、「栄養バランス、食事面」が27(27%)であった。

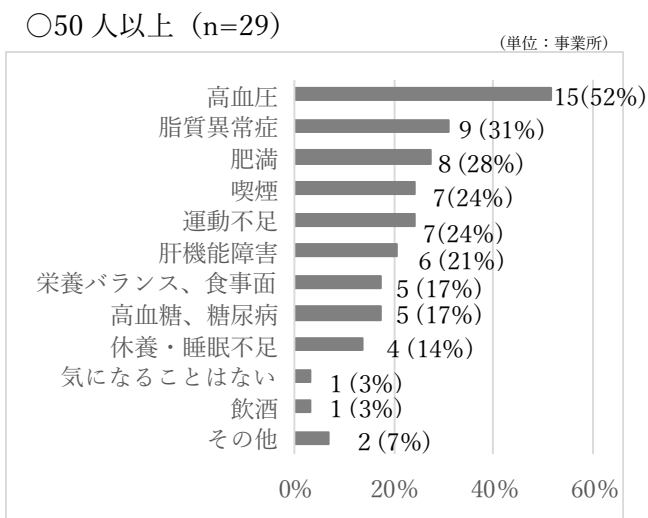


図13 50人以上の事業所における健康課題

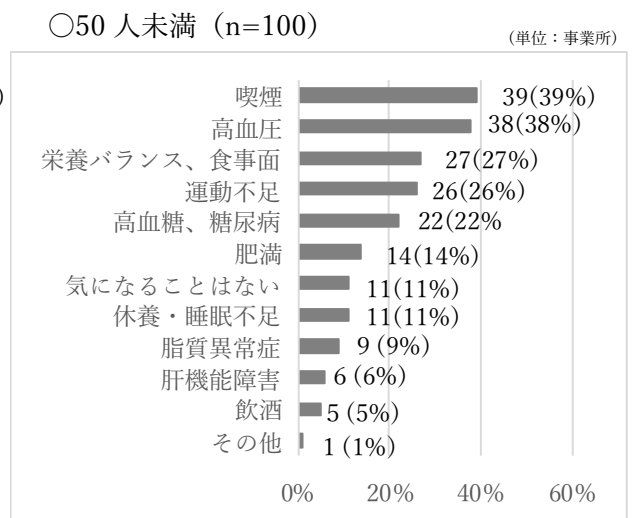


図14 50人未満の事業所における健康課題

②定期健診後の保健指導や医師による面談等のフォロー

定期健診後のフォローを実施している事業所は、50人以上の事業所では27(93%)、50人未満の事業所では44(43%)であった。

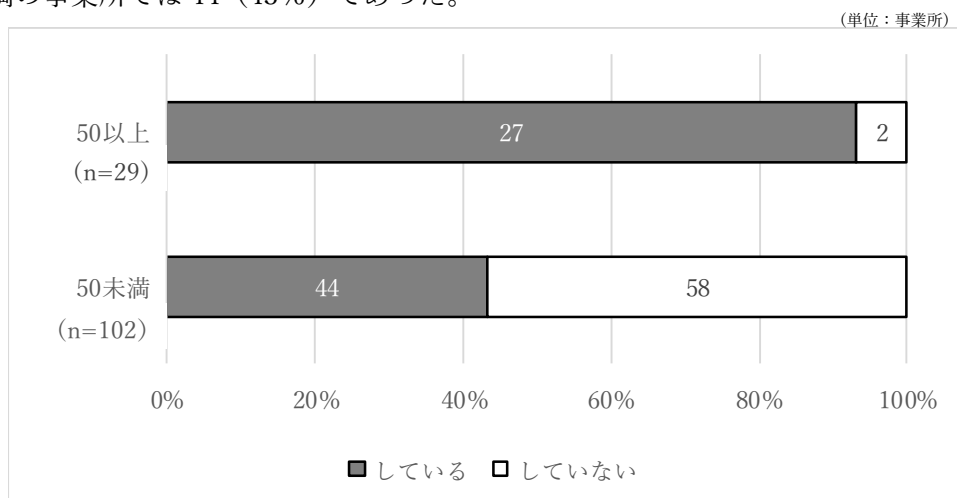


図15 事業所規模別の定期健診後のフォロー

### ③健康経営の取組

取組を行っている事業所は50人以上の事業所で21(72%)、50人未満の事業所で25(25%)であった。

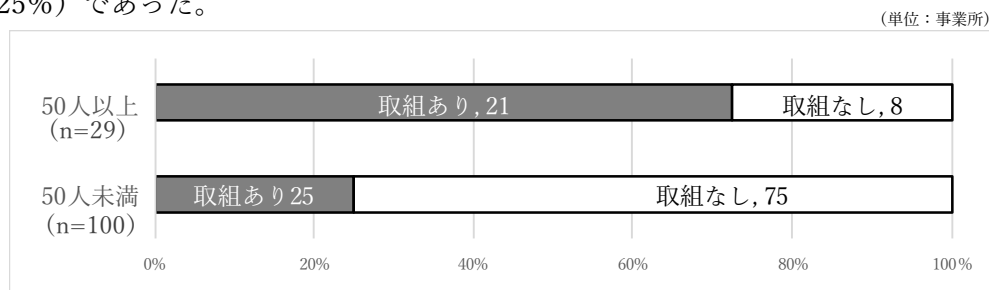


図16 事業所規模別の健康経営の取組

### ④支援を受けられる機関の認知度

支援を受けられる機関の認知度は、50人以上の事業所では「全国健康保険協会」が20(71%)と最も多く、次いで「産業保健総合支援センター」が11(39%)、「地域産業保健センター」が7(25%)であった。50人未満の事業所では「全国健康保険協会」が59(60%)と最も多く、次いで「知っているものはない」が26(26%)、「産業保健総合支援センター」が22(22%)であった。

#### ○50人以上 (n=28)

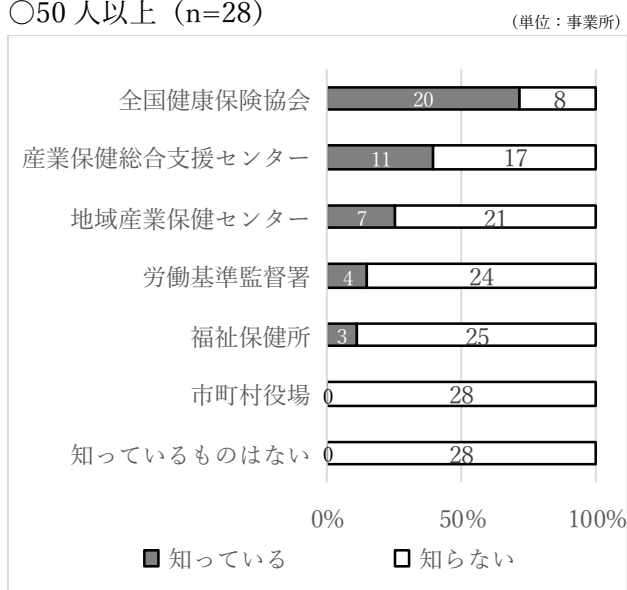


図17 50人以上の事業所における支援を受けられる機関の認知度

#### ○50人未満 (n=97)

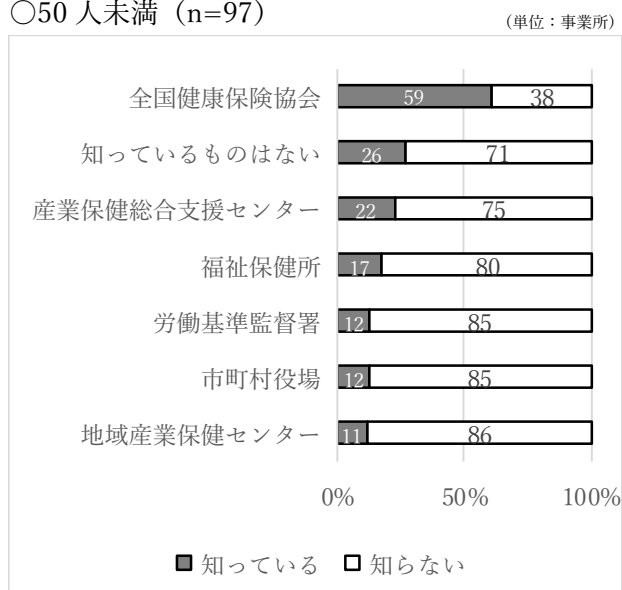


図18 50人未満の事業所における支援を受けられる機関の認知度

## III まとめ

---

### 1 従業員の生活習慣や健康について気になることと、職場の健康づくりの取組

9割の事業所が従業員の健康について気になっている。しかし、定期健診後のフォロー実施は約5割、健康経営の実施は約3割、健康パスポートの活用は約1割にとどまっており、具体的な取組に結びついていない。

全国健康保険協会高知支部のスコアリングレポートや、高知労働局の定期健康診断結果では、血圧や血糖、メタボ該当者等の有所見率が上昇傾向であり、職場の取組支援が必要。

### 2 支援を受けられる機関の認知度

全国健康保険協会以外の認知度は全て30%未満と低く、支援を受けられる機関の活用が不十分であり、関係機関と連携した支援が必要。

### 3 従業員数が50人未満の事業所

従業員数が50人未満の事業所では、定期健診後のフォロー実施率と健康経営の取組実施率が低く、支援を受けられる機関の認知度は「知っているものはない」が2番目に高かった。

50人未満の事業所では衛生委員会や産業医の設置が義務づけられていないこともあり、50人以上の事業所よりも取組実施が難しく、関係機関の保健サービスも十分浸透していないと考えられる。今後は50人未満の事業所に重点をおいて支援が必要。

#### ○留意点

本調査対象の232事業所は管内4,712\*事業所のうち約5%と少ない。また、回答率も58%にとどまっている。さらに、業種については健康課題があるものの割合が多いとされる業種のうち、当所が把握可能な建設業・製造業を主としているため、結果にかたよりのあると考えられる。

※令和3年6月1日時点 令和3年度経済センサス活動調査より